

◆ 例会報告 ◆

【11月例会・講演会・懇親会】

平成19年11月21日(水)／くらしき石山花壇

【講師】 喜田学園 東林館高等学校 理事長
喜田 三津雄氏

【テーマ】 「教育者の視点から見た人材育成」



講師：喜田学園 東林館高等学校 理事長 喜田 三津雄様

【プロフィール】

広島県内の学校で、カウンセリング主体の活動を経て、平成12年に東林館高等学校を開校した。現在は、同高校の呉校、語学学校をタイ、ニュージーランドへ開校し、講演会活動など幅広い活躍をされている。

東林館高校は8年前にできた、不登校の学生が通う高校です。不登校の子どもへのカウンセリングには数年かかります。専門のカウンセラーが集まって高校を作れば、カウンセラーを受けながら高校卒業もできると考えて学園を作りました。

不登校といっても、対人恐怖や視線恐怖や競争社会で頑張れなくなった子など理由はさまざまです。なぜ不登校になるのかずっと考えてきましたが、3つの「た」があると気づきました。1つ目は「たこつぽ」。他の部署や他のクラスで何が起きているのか、どんな気持ちなのかなど、分からなかったり分かったりしないことです。2つ目は「たらいまわし」。子どもが悪いのは、親が悪い、祖父母が悪い、先生が悪い、〇〇が悪い、といって責任をたらいまわしにすることです。3つ目は「たてまえ」。日ごろ何もしない・言わないのに何かあったときだけ、親や教師や保護者が出てきてものを言うことです。子どもにとってしんどいこと・つらいことを経験することは、成長する「チャンス」です。そんなときに親や先生が出てきて、「たてまえ」を振りかざし、しんどいことやつらいことを奪い、成長のチャンスまでも奪ってしまうのです。

これは、会社などの組織にもいえます。3つの「た」で組織は壊れてしまいますよ。



「彼女が出来ないんですけど何故でしょうか?」と山本さん



ユーモア一杯に答えて下さる喜田先生



合言葉は、「日本一の喜田先生——!!!」

【12月例会・2007年大忘年会 in瀬戸大橋スパリゾート】

平成19年12月20日(木)／瀬戸大橋スパリゾート



「伸びゆく大地」斉唱



藤木会長 挨拶



合言葉は「日本一の忘年会!!!」



かなり白熱!!



優勝した経営研修委員会の2人で、更に優勝賞品を競ってボクシング!! 三迫さんは空手をされているそうで、構えも決まっています。

【クリーン作戦】 平成19年11月10日(土)／JR倉敷駅周辺ほか

青年部会員・青年部OB・ご家族・従業員など総勢、191名のご参加を頂きました。

ご参加・協力いただいたOB・社員・ご家族・会員の皆様、本当にありがとうございました。このクリーン作戦も1年に1回だけのイベントではなく、これをきっかけとして、日々身近なところをクリーンにしていけば、「日本一きれいな街」倉敷になること間違いなし!



出発式



駅前あたり



会員企業の社員さん



お子さんも



美観地区も綺麗に